

令和7年度「#あおばな in 八戸聖ウルスラ学院中学校」開催概要

県内の中学生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和7年7月8日（火）14：00～15：15

○場所：八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校 第一体育館

○参加生徒：全校生徒 83名

＜生徒との意見交換＞

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①若者の海外挑戦に対する支援
- ②青森県の魅力について
- ③中高生の声が政策決定に反映される機会の創出
- ④読書活動による想像力の育成

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・ 海外への挑戦は、外の世界に触れることのできる貴重な機会。今の自分に何が必要かなど、外の世界に行って初めて気付かされることが多い。
- ・ 私たちが本当の意味で豊かになるためには、世界全体の中での立ち位置を考えることが必要。青森県民114万人の中ではなく、全世界70億人の中で、どのように関わり、活躍していくかという大きなビジョンを持ち、物事を考えることが大切。
- ・ 意見というものは子供の意見でも大人の意見でもとても大事。今後意見を言うときはしっかりと勉強し、自分の想いをのせて発言できるよう頑張してほしい。
- ・ 本を読むことで過去の知識を身につけ、旅をすることで今の自分の位置を明らかにし、人に会うことで自分の未来を見つめることができる。これらを通して人は成長していくので、この3つはぜひ実践してほしい。

＜対話の重要性を考えるゲーム＞

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒と野球ボールを使ったゲームを実施し、対話の重要性について考えました。

